

## 国際看護学

科目到達目標: 国際社会で現実に行き起きている事例を通して、健康問題への影響やその解決策と実践方法を理解することができる。

科目責任者(所属): 後藤 喜広(非常勤講師)、吉岡 伸一(地域・精神看護学) 連絡先: 0859-38-6333、E-mail: shiyoshi@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	8/20(月)	1	地域精神実習室	私たちの身近にある国際問題	後藤 喜広	非常勤講師	日本のニュースで取り上げられる国際問題をグループ討議する。	メディア・リテラシー、戦争報道、グローバルイゼーション
2	8/20(月)	2	地域精神実習室	世界的規模の国際協力の枠組み	後藤 喜広	非常勤講師	国際協力の枠組みと、人間の安全保障の理解。	国際協力、人間の安全保障
3	8/20(月)	3	地域精神実習室	国際看護に関わる機関、組織の役割	後藤 喜広	非常勤講師	政府、国際機構などの役割と限界、の理解。	国際機構、国連、ODA、国際貢献、NGO、NPO、ボランティア、国際公共財
4	8/20(月)	4	地域精神実習室	HIV/AIDSへの国際社会の取り組み	後藤 喜広	非常勤講師	HIV/AIDSが国際的課題となっている背景と看護について理解する。 HIVの知識、感染経路、予防方法について理解する。	プライマリー・ヘルスケア、地域ケアシステム、偏見、差別
5	8/21(火)	1	地域精神実習室	難民と貧困問題への取り組み	後藤 喜広	非常勤講師	復興支援への医療従事者の関わり方と看護について理解する。 貧困問題の背景と看護についての理解を深める。	民族紛争、難民、復興支援、人権、経済格差、貧困、ジェンダー、開発
6	8/21(火)	2	地域精神実習室	国際看護の基本となる概念と実践活動	後藤 喜広	非常勤講師	国際看護に必要な理論や哲学などの基本的概念と国際看護の方法について理解する。	プライマリー・ヘルスケア、健康、人間の幸福、文化、多様性
7	8/21(火)	3	地域精神実習室	国際看護の実践活動のためのツール	後藤 喜広	非常勤講師	現地主体での活動が自立継続するための国際看護の方法を理解する。	異文化看護、EPA看護師
8	8/21(火)	4	地域精神実習室	課題発表、まとめ	後藤 喜広	非常勤講師	国際的な研究や協力の必要性の理解。	

教育グランドデザインとの関連: 1、2、4、7

学位授与の方針との関連: 1、2

授業のレベル: 3

指定教科書: なし

参考書: 近藤麻理著「知って考えて実践する 国際看護」医学書院 南裕子監修: 国際看護学 グローバルナースングに向けての展開、中山書店

評価: グループワークへの積極的な参加30%、講義終了後のレポート提出40%、その他講義への参加状況30%

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。